



自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

*Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety*

(L) (I) (O) (N) (S)

## 会長基本方針

(2013.7~2014.6)

1. 50周年記念大会を全員参加で盛り上げ成功させよう
2. LCIF基金
3. 青少年健全育成事業の推進
4. 例会・委員会を通じて共に学びライオンズの基本理念を考える
5. 委員会活動を活発に行う
6. 思いやり、気遣いを持って例会運営にあたる
7. 継続事業の実施・献血(三献)・環境保全
8. 会員増強と在籍会員の維持

駒ヶ根ライオンズクラブ会報 第141号

■発行日/平成26年7月4日 ■発行者/駒ヶ根ライオンズクラブ 会長 田中一正 ■編集責任者/PR・IT委員長 米沢浩一  
■事務局/駒ヶ根市上穂栄町3-1 駒ヶ根商工会館4F TEL.0265-83-7806 FAX.0265-83-8386  
■制作/ブランドウ ■印刷/株式会社 宮澤印刷

# 会報

vol.141

2014年6月

## KOMAGANE LIONS CLUB

会長スローガン

### 「過去に感謝し～未来への飛躍」

## We Serve

一つ一つ積み重ねた奉仕の精神は50年という大きな節目を迎え  
駒ヶ根ライオンズクラブの新たな歴史を刻んだ一年でした  
そしてまたここから次のステージに向けて  
新たな第一歩が踏み出され  
未来へ飛躍します

334-E地区1R2Z



駒ヶ根ライオンズクラブ



会長  
L. 田中 一正

## ◆友愛に感謝

一年間責任の重さと緊張の毎日でしたが、皆様方のご指導、ご協力により、大過なく努めることができました。心より感謝を申し上げます。本年度スローガン「過去に感謝し～未来への飛躍」のもとに50周年記念大会を柱として取組んできました。全員参加で盛り上げ、パートナーの皆様にも大勢の方にご協力をいただき50周年記念に相応しい大会、記念事業が出来ました。感謝と御礼を申し上げます。三献運動、スポーツ少年団との環境保全事業においても、各委員会ごと一丸となって取組んでいただき成果を上げることができ、第60回年次大会において6本のアワードを受賞することが出来ました。LCIF事業に27名のメンバーの皆様にご理解を示していただき、LCIF理事長感謝を頂きました。新たな奉仕活動として、薬物乱用

から青少年を守るべくメンバーが薬物乱用防止教育の認定講師の資格を取得し、自ら学校に出向き薬物乱用防止教育を開催できるよう講師の養成に取組みました。次年度において事業計画に取り入れて実行できるようお願いします。家族と共に奉仕活動の出来る喜びと、家族の理解を得られる家族会員拡大をクラブ運営を圧迫することなく家族会員制度を発足する運びとなりました。終わりに微力な私ですが、メンバー全員でライオンズ精神でもある友愛と相互理解のもと一年間支えていただき厚く御礼申し上げます。クラブの益々の発展と、会員皆様方のご健勝を祈念して退任の挨拶とします。一年間ありがとうございました。



幹事  
L. 小池 強

## ◆御協力と御支援に感謝

50周年の準備を含めて一年半、会員の皆様はじめ大会役員の皆様方には一方ならぬ御支援、御協力を頂き誠に有難うございました。おかげさまで無事周年記念事業を終える事が出来ました。同時進行の継続事業につきましても至らぬ幹事のもと、絶大なるお力を賜り衷心より感謝申し上げます。又、LCIF基金の募集には快く27名の方が御協力を頂き、334E地区最高額で理事長感謝状を頂きました。会員増強については取組が12月からになったことで成果が十分に出来ませんでした。これは次年度の執行部への送り事項にさせて頂きたく存じます。一方、田中会長、桃澤会計の指導がなければ到底達成出来なかったと感謝致しております。最後になりましたが、駒ヶ根ライオンズクラブが、これからの50年に向けて発展し、輝かしい成果を

上げられ、会員の皆様の益々の発展と御健勝を祈念申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



会計  
L. 桃澤 克芳

## ◆退任のご挨拶

本事業年度に未熟ながら例会会計並びに周年事業会計として大変お世話になりました。一年を振り返れば、厳しい経済環境の中で課せられた課題は、何といたっても駒ヶ根ライオンズクラブ50周年記念事業と式典の成功にかかっておりました。チャーターメンバー様はじめ、クラブ会員一丸となり50周年の半世紀に亘る歴史の中で営々と築かれてこられた数々の事業と成果が輝かしい実績として高い評価を頂く事が出来ました。しかし、式典の会計を任された者として果たして本当に「成功裏に終了することが出来ました」と言ってしまうのが一抹の不安に駆られている所が本音であります。例会事業も各委員会様の如何ないご裁量の元、すべての事業が予算内で恙なく終わることが出来ました。任期満了に当たり、至らない会計でありましたが、皆様方のご指導とご支援をいただき、何とか無事役割を果たす事が出来ました事に改めて深謝申し上げます。ありがとうございました。



1R GMT・GLT  
アラート委員  
L. 吉澤 正敏

## ◆1R GMT・GLT・アラート委員を指名されて

甘利ガバナー（小諸LC）のもと地区アラート委員を務めてきました。基本方針の第一に会員増強・推進・拡大・指導力が掲げられ、日本から国際会長が誕生するに付き、会員を今の倍の20万人にしたいと提案があり、大幅拡大には家族会員の増強が必須と伝う事と成りました。1Zでは岡谷LC、諏訪湖LCが積極的に行動されておりますが、2Zはやや出遅れ状況です。次年度に課題は引き継がれると思います。ライオンズクエストに付いて人生を豊かにする能力「ライフスキルを小学生に届けよう」の講演がありました。子供たちに身に付けてほしい力・自分で自分をコントロールする能力、他人とうまく関わる能力。生活の中で行動する能力を身に付ける。これを実践するには教員の意識改革が必要であり、教育委員会と連絡を取り合いライオンズクラブが積極的に関わり、ワークショップ実施に向けて次年度役員の皆様に期待致します。ご協力戴きました事に感謝申し上げ、退任の挨拶とします。



第一副会長  
L. 宮澤 宏彰

## ◆お世話になりました

「過去に感謝し～未来への飛躍」の田中会長のスローガンのもと50周年の記念式典・記念事業は忙しく充実した大変意義ある年度だったと思います。会員委員会、財務委員会、計画委員会を担当してもらい高所・遠めがね・鳥瞰的に見、参加していろいろ学びました。年次大会での献血賞、会員増強賞、グッドスタンディング賞、地域社会アクティブ賞、国際アクティブ賞、環境保全賞をもらったことは立派で見事で、今後大きな励みとなります。メンバーの皆様のお陰をもちまして無事一年終わりました。ご協力ありがとうございました。



第二副会長  
L. 米山 正和

## ◆ありがとうございました

本年度、保健奉仕委員会とYCE委員会、環境保全委員会を担当させて頂きましたが、各委員会とも委員長さんを中心に、無事計画通り事業が推進できましたこと、大変ありがたく思っております。私事で大変恐縮でございますが、新年度がスタート致しましてから体調を崩し、50周年記念事業、クラブ活動等到大変ご迷惑をお掛けしましたこと、本当に申し訳ございませんでした。この一年間、ご理解ご協力頂きましたメンバー各位に感謝し、今後とも変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。



第三副会長  
L. 宮下 厚

## ◆一年を振り返って

第三副会長を仰せつかり、あっという間の一年でした。第三副会長の仕事は24回のライオンズの誓いを言う仕事かな？って思っておりました。今年度はクラブ結成50周年記念事業があり、私は式典部長の大役を仰せつかり、11月17日の式典が無事終了することが出来ました。L.小池和夫大会副委員長と副部長さんと式典部の皆様に助けていただいたおかげです。本当にありがとうございました。また、第三副会長は出席委員会とPR・IT委員会の担当です。出席委員会は出席率向上と茸狩り例会がメインです。今年も茸が不作でしたが、楽しい例会が出来ました。PR・IT委員会では今年度は会報発行が2回ですが充実した内容で発行できたと思います。一年間お世話になります。



ライオン・テマー  
L. 松川 常夫

## ◆退任の挨拶

結成50周年節目の年にライオン・テマーをさせて頂きありがとうございました。限られた時間内の例会で時間厳守、スムーズな進行、特別例会場での旗、ゴングなど、飾りつけ又、備品管理など心がけてまいりましたが、皆様のご理解とご協力で何とか一年間大役を果たす事が出来ました。感謝申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。



テール・ツイスター  
L. 新井 博

## ◆ご協力に感謝

本年、50周年を迎え、各メンバーともいろいろな機会に出費する事が多い中、当初の予算を大幅に上回るドネーションを頂くことができました。全メンバーの温かいご支援・ご協力に感謝申し上げます。また副テーマL.橋田の細かなサポートにも大いに助けて頂きました。1年間ありがとうございました。



Komagane Lions Club

# 委員長退任挨拶



## 会員委員会

委員長 L. 吉澤 正敏 副委員長 L. 池上 勝洋

### 会員増強に感謝

地区の会員増強を推進する立場から会員の皆様にご支援ご協力をお願いし、特に若手会員による特別委員会を立上げ、若年のメンバー獲得に向け推薦者リストを出してもらいました。特別委員会10名の皆様にはご尽力戴き感謝申し上げます。目標7名に対して一般会員1名、家族会員8名の入会を達成する事ができました。次年度も宜しくお祈りします。年会費の内規改正もお願いしました。会費は原則1年分を3回に分けて全納するものとし、当初予算額によりスムーズに運営が出来ますようご理解戴きたいと思ひます。一年間のご支援、ご協力に感謝申し上げます。



## 計画委員会

委員長 L. 松井 良介 副委員長 L. 下島 利満

### 早め早めの計画、推進

本年は50周年記念大会もありました。一時期は過密なスケジュールの中、全ての事業が滞りなくスムーズに出来たのは、役員中心に早め早めの計画、推進が出来たことと、各メンバーの積極的な協力の賜であると思ひます。心配であった会員増強も、本年度より家族会員制を導入し達成させました。計画委員会として、あらためて駒ヶ根ライオンズクラブのまとまりを感じる一年でありました。大変ご苦労様でした。



## YCE委員会

委員長 L. 松井 俊仁 副委員長 L. 原 清美

### 一年を振り返って

派遣学生募集から始まり、前半は50周年記念事業一色となり忙しい年となりました。青少年健全育成補助事業では駒ヶ根・飯島・宮田の学校へ希望の品物を届ける事ができ、担当部会の事業も充実した活動ができました。又、ライオンズ旗争奪リトルリーグ大会は悪天候のため一週間延期となり、当日も台風接近で危ぶまれましたが、無事開催することができました。担当例会は、薬物乱用防止教育認定講師となったL.小田切さち子、L.橋田利雄に「薬物乱用と身体への影響」と題して講演して頂きました。一年間ありがとうございました。



## 出席委員会

委員長 L. 小澤 禮治 副委員長 L. 堺澤 豊

### 一年間お世話になりました

メンバー各位のおかげを持ちまして、例年同様の例会出席率を得ることができました。以前より他クラブの方々から、駒ヶ根クラブの例会出席率の良さは評価されていましたが実際に出席状況を記録してみても改めて驚きをもってメンバーの心意気を感じました。

- ・最終全体出席率は93.9%・100%出席のメンバーが22名
  - ・メイク100%出席のメンバーが14名・上記100%出席の合計は36名・メイクを含む実質100%出席の例会日が1日。
- 次年度も出席率100%を目指してよろしくお祈りいたします。



## 財務委員会

委員長 L. 竹内 寿一 副委員長 L. 渡辺 喜一

### 財務委員会報告

組織運営にとり一番大事とされる財務を司ってきました。まず予算書を作成し、それに基づいた健全な運営のもとに各事業が行われました。まもなく監査会があり、7月には決算書ができます。委員会の大きな活動の一つとして、委員会メンバー全員が力を合せて行なったマレットゴルフ例会があります。今年も多く参加を頂き、馬見塚で行いました。今回は皆さんにさらに研鑽していただくようメンバーの成績表を作り渡しました。その後懇親会があり、楽しい時間を過ごしました。これにて財務委員会の事業は全て終了しました。



## 保健奉仕委員会

委員長 L. 木下 昌明 副委員長 L. 藤澤 武夫

### 一年間ご協力ありがとうございました

献血推進奉仕活動は主事業であり、全メンバーの参加協力により日程変更、追加などがありましたが、当初の目的通り良い成果を上げる事ができました。9月17日の50周年事業慰霊法要例会は、安楽寺にて献眼者、物故ライオンご遺族をお招きし、無事行なう事が出来ました。担当例会には、長野日報でお馴染みの4コマ漫画の橋爪まんぶさんをお招きし、笑いの中のマンガと題して講演して頂きました。献血推進奉仕活動、慰霊法要に参加、ご協力頂いた委員会メンバー、全メンバーのご協力に感謝申し上げます。一年間お世話になりました。



## 環境保全委員会

委員長 L. 下平 文隆 副委員長 L. 武田 三郎

### 思い出になる一年

50周年アクティビティ部会では1.電気自動車贈呈、2.慰霊法要 3.青少年育成補助事業と充実した一年であったと思ひます。純粋な奉仕活動を通して、市町村間での意識の差も感じました。環境クリーン事業では病気の人を思いやる意味で、新たに昭和病院を加え実施できました。ご協力に感謝します。事業の目的を明確に継続事業でもアイデアを加え、向上心を忘れず、いつも新鮮であることが大切だと思ひます。過去に感謝し、更なる発展を期待します。



## PR・IT委員会

委員長 L. 米沢 浩一 副委員長 L. 林 喜之

### 充実の一年でした

今年度は50周年記念大会もあり、記念誌の発行も行いました。50年分の資料を集め編集する中で、改めて駒ヶ根ライオンズクラブの奉仕の精神を実感し、これからも確実に地域に根付き浸透していくであろうと思ひました。年2回の会報の発行もありましたが、会報だけではクラブのPRもままならず、もう少し外に向けて奉仕活動の内容を発進出来ればと思ひます。ありがとうございました。



Komagane Lions Club

KOMAGANE LIONS CLUB  
ACTIVITY

# アクティビティ

## Act 1

第39回 日本・フィリピン合同医療奉仕活動 2014.2.8~11

L.宮下 厚

第39回日本・フィリピン合同医療奉仕活動が2月8日~11日まで行われました。駒ヶ根ライオンズクラブからは、三役と私の4名で参加してまいりました。8日の出発から大変な思いをしました。駒ヶ根を4時30分に出る時には大雪でセントレア空港まで行けるのかと思ひましたが、何とか辿り着くことができました。しかし今度は9時30分出発がさんざん待たされ、午後2時出発となり何とかフィリピンに到着しました。1日目は朝6時30分からトラック2台に荷物を満タンに積み、目的地(ケソン・シティ)に8時30分に到着しました。荷物を降ろし、各担当の場所に振り分けて9時頃から奉仕活動の開始、午後4時までの活動で、当クラブは歯科の担当をし、投薬と手ぬぐい配りを行いました。朝から長蛇の列でドクターも汗だくで対応していました。また、日本のドクターは素晴らしく、フィリピンの研修医が2時間かけて抜けなかった子供の歯をいとも簡単に抜いてしまいました。2日目はタギグシティで歯科担当でした。2日目は午前中で終了でしたが、国際第二副会長L.山田實紘が夫人と激励に見えられ、皆さんと和やかに話されていました。去年と今年と2回行ってきましたが、日本ってなんて贅沢な暮らしをしているのかと思ひ、もっと資源や物を大切にしなければとつくづく思いました。



## Act 2

駒ヶ根市スポーツ少年団より感謝状授与 2014.1.19(日)

駒ヶ根ライオンズクラブでは、毎年駒ヶ根市スポーツ少年団へ活動支援金10万円を贈呈しています。その功績を称え、駒ヶ根市スポーツ少年団より感謝状の贈呈がありました。1月19日(日)に駒ヶ根市体育館に於いて行われ、三役が出席しました。真冬の冷えきった体育館の中には大勢の子どもや保護者が参列し、その熱気で寒さも吹き飛びました。毎年行われている活動支援金の贈呈ですが、青少年健全育成事業の一環として、今後も更に継続していければと思ひました。



## Act 3

第13回 上伊那聴覚障がい者・手話サークル 1R2Z 3クラブ 親睦ボウリング大会 2014.3.2(日)

環境保全委員会 L.城倉 寿一

去る3月2日みのわボウリング場にて「聴覚障害者ボウリング大会」が伊那ライオンズクラブのホストで、駒ヶ根ライオンズクラブ、辰野ライオンズクラブの三者協賛で、大勢の聴覚障害者のご参加で行われました。参加された聴覚者の皆さんはこの大会を楽しみにしている方々ばかりで、私達メンバーよりも大変お上手で驚きました。2ゲームで300以上のハイスコアの方が優勝、準優勝となりました。競技終了の懇親会の席では、協会のスタッフの方々から手話のレクチャーが行われ、覚えてたの簡単な手話で障害者のみなさんとコミュニケーションをとることができました。次回は駒ヶ根ライオンズクラブがホストですので、よろしくお願い致します。



## Act 4

### ちびっ子広場一斉作業の報告 2014.4.20 (日)

YCE委員長 L.松井 俊仁

4月20日(日)に菅の台ちびっ子広場の清掃作業に、L.下澤正一と私の二人で参加しました。町づくり推進部都市計画係主催で全体で50名位での活動。当日は天候も良く、AM9:00~11:00まで広場内の枯れ枝拾い・落ち葉のかたづけ等、作業に汗を流しました。今年は駒ヶ池湖底改修工事をしていて湖水の水も無く、広場内水路もしっかりと清掃する事ができました。大変ご苦労様でした。



## Act 5

### 献血推進奉仕活動

保健奉仕委員長 L.木下 昌明

25年度の献血推進奉仕活動は、日程変更、献血場所追加などありましたが、前年度を上回る実績を得る事が出来ました。委員会メンバー、全委員会メンバーの参加協力により、全日程の活動を終える事が出来ました。又、ご協力頂いた企業様、献血をして頂いた皆様に感謝、御礼申し上げます。まだ全血液が不足しているのが現状です。又、本年度は献血奉仕活動に、アイバンクの眼球提供登録申込書も配布し、3名の申込みもありました。全メンバーも献血推進奉仕活動を行なう中で社会貢献の必要性を感じて頂き、更にご協力をお願い致します。一年間ご協力頂いた全メンバーに感謝御礼申し上げます。ありがとうございました。



#### ●本年度の献血内容

- ・38会場
- ・献血者：1,365名
- ・献血量：583,000ml



## Act 6

### 薬物乱用防止教育認定講師の資格認定

当クラブよりL.小田切さち子、L.橋田利雄の両名が薬物乱用防止認定講師要請講座を受講し、講師の資格認定を受けました。

近年、薬物乱用問題は全世界的な問題となっており、わが国においても覚せい剤・合成麻薬MDMA・違法ドラッグ・大麻乱用が青少年層に拡大し、薬物汚染の現状はますます低年齢化・潜在化傾向にあり極めて深刻な社会問題となっております。薬物乱用防止は小学生・中学生の小さい時から薬物乱用防止の正しい知識の啓発が最も重要な活動です。そして、ライオンズクラブのメンバーがクラブ単位で地域の小・中学校で薬物乱用防止教室の開催を実施することも必要です。その必要性からメンバーが講師として学校へ出向いて薬物乱用防止教室を開催することにより、薬物乱用から青少年を守り、健全育成をはかることを目的として活動していきます。



# 駒ヶ根ライオンズクラブ例会報告

## 会員卓話 2014.2.7 (金)

担当：YCE委員会

### 演題「薬物乱用と身体への影響」

講師/L.橋田利雄・L.小田切さち子

薬物乱用防止教育ビデオ上映の後、L.橋田より話しがありました。講師に期待される役割は、ライオンズ等の民間奉仕団体の様々な視点や経験、知識からの講義、指導の内容が求められています。薬物乱用の背景になっている心の問題についての助言をしてほしいと期待されている様です。



## 講師例会 2014.3.7 (金)

担当：保健奉仕委員会

### 演題「ユーモアと笑い」

講師/橋爪まんぶ様 (漫画家)

漫画を描く設定の中で、笑いは3つに分かれるとの事。一つ目は「人を困らせる笑い」二つ目は「人を楽しませる笑い」三つ目は「人を救う笑い」でユーモアと言うのは人を救う笑いの事である。人間は笑いでいろいろなものを発散する。「笑い」はとても大事なものである。



## 会員卓話 2014.4.18 (金)

担当：執行部

### 演題「長野県議会報告・その他」

講師/L.佐々木祥二 (長野県議会議員)

2年前の副議長の時知事に提案した「信州山の日」が7月の第3日曜日に制定されました。駒ヶ根市においては、駒ヶ根高原を売り出すべく「ウェディングリゾート」を計画し、台湾、中国からの観光客も期待される中、旧駒ヶ根庁舎を結婚式場にしたらどうかと提案しているとの事。



## 球技例会 2014.5.16 (金)

担当：財務委員会

### マレットゴルフ・例会・懇親会

5月16日(金)に馬見塚マレットゴルフ場にて球技例会が行われました。当日は天気にも恵まれ、マレットゴルフには26名の参加者があり、優勝はL.田中一正、2位L.井口美義、3位L.浦野英喜でした。懇親会では沢山飲んで食べて喋って、楽しい時間を過ごしました。



## 講師例会 2014.2.21 (金)

担当：執行部

### 演題「伊那谷に地震は起こりますか」

講師/L.松島信幸様 (理学博士)

東海沖で起きる地震は、直接伊那谷で起こるわけではなく、伊那谷で起こるかどうかは本当のところわからない。また、国が発表している伊那谷断層帯の地震発生確立はゼロ?だとしているそうです。しかし常日頃から地震に対しての知識を持ち、意識して生活する事が大事との事です。



## 会員卓話 2014.4.4 (金)

担当：PR・IT委員会

### 演題「駒ヶ根市制について」

講師/L.堀内 秀 (駒ヶ根副市長)

広域の行政サービスと、駒ヶ根市の行政サービスについて詳しく説明をして頂きました。駒ヶ根市は合併していないので予算も厳しく、職員数も220名と他の市町村のレベルで見ると少い方で、少数精鋭で行政サービスの質を落さないように努力しているそうです。



## 会員卓話 2014.5.2 (金)

担当：執行部

### 演題「クラブ50年・結成の思い出とその後」

講師/L.菅沼盛和

昭和38年10月に結成するにあたり、1年前には既にロータリークラブが結成しており、メンバーを捜すのに大変苦労しました。初代会長は池上庫司さんで、幹事が宮下大一さん。当時は事務所が無く、宮下幹事の家で会合や準備をしていました。今思えば当時は大変苦労しました。



## 講師例会 2014.6.6 (金)

担当：執行部

### 演題「市制60周年について」

講師/杉本幸治様 (駒ヶ根市長)

駒ヶ根市では第4次総合計画として、今後の10年間の政策を総合的かつ体系的にまとめた計画を策定しました。将来像である「愛と誇りと活力に満ちた駒ヶ根市」の創造に向けて、「ともに創ろう!笑顔あふれるまち駒ヶ根」を合言葉にまちづくりを進めましょうと話されました。



チャーターナイト引き継ぎ同伴例会 2014.6.20 (金)

チャーターナイト同伴引き継ぎ例会がアイバルいなんに於いて開催されました。会長L.田中一正の今年度最後の挨拶の後、各種表彰が行われ、続いて新旧5役のバッチ引き継ぎにより全メンバーの見守る中、ここに新役員が誕生しました。新会長のL.宮澤宏彰により新役員、新委員長の紹介があり、無事引き継ぎが済みました。懇親会では、前会長のウィサープの後、一年を振り返りながらパートナーと共に和やかな歓談に花が咲き、会員相互の親睦を更に深める事ができました。



第60回 334-E地区年次大会開催 2014.5.25 (日)

L.林 喜之

今年は6本の年次表彰

5月25日(日)小諸市文化センターに於いて、第60回地区年次大会が開催され、当クラブより9名が出席しました。午前には代議員会、午後からは大会式典が盛大かつ厳粛のうちに開催されました。大会式典来賓挨拶で、阿部長野県知事より、ライオンズクラブと長野県の包括的な連携協定の話があり、協力への感謝と、今後ますますの取り組みへのお願いがありました。本年度の駒ヶ根ライオンズクラブの年次表彰は6本と、多くの賞をいただきました。他にLCIF理事長賞、会員増強個人賞、LCIF優秀賞、敬労賞、30年、50年皆勤賞と、数多くの個人賞もいただきました。これは田中会長始め、駒ヶ根LCメンバー全員による地道な活動の評価と感謝いたします。



年次大会表彰

- グッドスタンディング銀賞 ●会員増強賞 ●献血賞 ●環境保全賞 ●国際アクティビティ賞 ●地域社会アクティビティ賞
- ◎会員増強個人賞 L.田中一正 ○LCIF基金(5回) L.北原公和・L.林 茂男 ○敬老会員表彰(80歳) L.小池和夫・L.坂口昌弘
- 永年皆勤会員賞(50年) L.川上 淳・L.小林清志・L.小林正人・L.菅沼盛和・L.田中一正
- 永年皆勤会員賞(30年) L.浦野英喜・L.北原公和・L.下島利満

ライオンズ世界ランチリレー・コンテストに登録・応募 2014.4.4 (金)

ライオンズ世界ランチリレー・コンテストに応募しました。

「楽しい昼食・仲間との昼食(健康にも興味を持って)」のテーマもと、各委員会ごとにランチの時間を過ごしました。毎回楽しい仲間との会話を中心に、健康の為1口30回よく噛んで食べる事が大事です。お弁当の素材にも興味をもって味わいましょう。



新入会員ご紹介

L.地田 俊彦

- 生年月日 昭和37年8月17日
- 勤務先 アルプス中央信用金庫
- 役職 赤穂営業部 部長



ライオンズクラブの活動については、まだ不勉強でわかりませんが、地域社会、人道的奉仕に率先して活動できるように努力して参りたいと思っています。以前、妻もガバナー事務所へお世話になっており、縁を感じております。未熟者ですが、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

L.石田 耕一

- 生年月日 昭和34年6月27日
- 勤務先 石田建設株式会社
- 役職 代表取締役社長



私の好きな言葉は“継続は力なり”であります。早起き、便所掃除、神棚・先祖への感謝の言葉、妻との早朝散歩等々。最近では健康管理に気を使っております。糖尿病予備軍卒業目指して精進しております。

新事務局員ご紹介

石田 美穂

- 好きなもの
- 塩野七生
- Ballet
- マンドリン



このたび、6月末で退職された塩澤さんの後任として、クラブ事務局にお世話になります石田美穂と申します。会員皆様のクラブ活動の一助となれますよう、努力したいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

家族会員ご紹介

本年度キャビネットの会員増強において家族会員の推進があり、当クラブでも8名の家族会員の入会がありました。

- 新井 敬子 (L.新井 博の奥様)
- 小池 清子 (L.小池 強の奥様)
- 瀧本 静子 (L.瀧本好美の奥様)
- 武田千恵子 (L.武田三郎の奥様)
- 田中和子 (L.田中一正の奥様)
- 松川やすのぶ (L.松川常夫のお兄様)
- 桃澤喜久美 (L.桃澤克芳の奥様)
- 吉澤 静子 (L.吉澤正敏の奥様)



事務局員退職 | 13年にわたりクラブ事務局員として活躍された塩澤和美さんが6月で退職されました。長い間ありがとうございました。

2007年7月事務局員に採用され会員皆様の温かい心に支えられて、未熟者の私が13年間勤められました事、心より感謝申し上げます。今後の会員皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

物故ライオン

L.川上 淳  
平成26年4月10日逝去

クラブ活動への貢献に感謝申し上げます  
ご冥福をこころからお祈り申し上げます。

第21代会長、そしてチャーターメンバーとして  
クラブ結成から多大なる貢献をされてこられました。  
茸狩例会での競りの名司会ぶりが思い出されます。

